

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2024年度採択事業者 調査報告書

2026年3月31日

株式会社エル・ディー・エス

(1) 事業目的



課題

中四国地方は瀬戸内海を中心にものづくり企業が発達し、国内でも有数のものづくり地域として独自の発達をしています。

さらに、中四国にある大学の研究機関には高い研究実績があり、多くの政府資金も供給されています。金融機関によるスタートアップ支援や、イノベーション拠点も存在しています。

しかし、地方において研究成果をもとに、研究者等が大学発スタートアップとして起業する数は多いとは言えません。中四国地方は大阪・福岡といった大都市圏に挟まれており、都市圏と比較して人口が少なく、刺激や能力開発に触れる機会が限定されています。例えばMBAを学べる大学が少なく、シーズからビジネスイメージを形成できる人材が不足しており、必ずしも多様な経営人材を確保できる状態にあるとは言えません。

地方での起業を活発にし、イノベーションを起こすためにも、首都圏モデルとは異なる、地方のスタートアップ創出モデル「地方モデル」が必要不可欠です。

MPM以前の取組

- 自治体、大学が実施するアントレプレナー事業を中心に、大学発スタートアップの創出・成長支援を実施してきましたが、その数は多いとは言えず、効果的な支援を実施しているとは言えない状況でした。
- 大学においても大学発スタートアップ創出事業を散発的に行っていましたが、大きな成功を収めているスタートアップがいるとはまだ言えない状況です。
- 2024年から文部科学省の支援によって、中国地方の大学発スタートアップを創出させるPSI事業がスタートし、大学においても同様にスタートアップ創出支援にちようど力を入れ始めている状況において、本事業をスタートすることができ、同取組とは有機的な連携ができています。

MPMで目指す姿

弊社が中四国地方でハブとなり、大学・VC・金融機関・経済団体が協力し、地方で大学研究室・大学発スタートアップと経営人材が会う“環境”の構築及び最適な「地方モデル」の仮説検証・構築にチャレンジします。

弊社はこれまで、中四国において様々なステークホルダーと共同事業を実施してきました。例えば、企業と経営人材のマッチング、新規事業創造、人材育成、イノベーションハブの運営などが実績に挙げられます。

それらを活かして実行性の高い経営人材と大学研究室等とのマッチング及びスタートアップ設立後の伴走を行います。

(2) 事業概要

実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	・ 発掘方法の検討：経営人材の発掘・獲得方法を検討し、適切な人材をリストアップする。特に、参画団体からの個別紹介、弊社人材プラットフォームを使った人材獲得、ホームページを立ち上げて効果的に世の中に広く一般に募集をかける広報などを駆使して、経営人材を広く獲得するとともに、その効果を検証する。 ・ 質の確認方法：面談を通じて経営人材の質を確認し、共創トレーニングを実施して能力を向上させる。 ・ トレーニングプログラム：エフェクチュエーションの5原則を中心に、戦略性の導入や競争戦略論、未来の準備などのトレーニングを実施する。
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	・ イベントの開催：マッチングイベントやワークショップを定期的で開催し、経営人材とスタートアップの出会いを促進する。 ・ オンラインプラットフォームの活用：オンラインツールを活用して出会いのハードルを下げ、N数を獲得する。 ・ コーディネーターの役割：コーディネーターが経営人材とスタートアップの間に入り、関係構築を支援する。
③経営人材として経営参画するための環境整備	・ 労働条件の整備：経営人材がスタートアップで活躍できるよう、労働条件や契約条件を整備する。具体的には、報酬や雇用期間、解除条件などを調整する。 ・ 経営環境の整備：定期的なミーティングを通じて、経営人材がスタートアップに適切に参画できる環境を整備する。 ・ 法的支援：法廷闘争に発展しないように、労働問題の専門家等に相談・仲介を依頼し、大学発スタートアップ等の希望と経営人材の希望をすり合わせる。
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	・ KPIの設定とモニタリング：適切なKPIを設定し、進捗状況を随時確認しながら事業を推進する。定量評価と定性評価を行い、マッチング後の経営人材の状況を記録・検証する。 ・ 報告会の実施：定期的な報告会を開催し、実施結果を共有する。報告資料の作成については、研究者や経営人材に過度な負担をかけないように配慮する。

(3) KPI

KPI	種別	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数				
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数		300	317	・個別引き合わせ（事務局主導）：123人 ・経営人材主導（研究者リスト/プロボノ事業者等）：34人 ・イベント参加人数：160人 ・共創トレーニング：24人 ・マッチングワークショップ：60人 ・Innovation Canvas Lab（事務局主導）：15人 ・徳島ピッチイベント36人 ・オンラインピッチ25人
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	SU創出	100	50	マッチングステータスが成立となったペアの数 （その後の解散事例も含む）
	設立済みSUへの参画		2	
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	SU創出	10	1	
	設立済みSUへの参画		1	
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	SU創出	1	2	
大学発スタートアップ支援数				
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	設立済みSUへの参画	60	3	